

令和2年度
公益事業実施計画

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

事業名	備考
公益事業Ⅰ－支援	被害者等のニーズに応じた直接的支援等の各種支援事業
公益事業Ⅱ－研修	支援を支える支援活動員の養成及び支援員のスキル向上研修事業
公益事業Ⅲ－広報啓発	被害者等の置かれた状況を正しく知っていただき、犯罪被害者支援の必要性を広く県民に知っていただく広報啓発事業
管理費	総務・人事・公益会計等
ファンドレイジング	自主財源の確保

公益社団法人
紀の国被害者支援センター

目 次

[事業計画]

1. 公益事業Ⅰ（支援）
 - －電話相談・面接相談・付き添い等被害者のニーズに応じた直接的支援活動等の各種支援事業
2. 公益事業Ⅱ（研修）
 - －支援を支える支援活動員の養成及び支援員のスキル向上研修事業
3. 公益事業Ⅲ（広報啓発）
 - －被害者等の置かれた現状を正しく知ってもらい、支援の必要性を広く県民に知ってもらう事業
4. ファンドレイジング（自主財源の確保事業）
5. 管理的業務

令和2年度事業計画及び予算について

【事業計画】

1. 基本方針

○総合的な被害者支援（支援・研修・広報啓発）について

犯罪被害者等は、犯罪による直接的な被害だけでなく、その後に生じる様々な問題により精神的被害等多くの被害に苦しめられます。犯罪被害者等がこうした被害から回復し、再び平穏な生活を営めるようになるため、電話を受けてから支援を行う応答的支援に加え、“犯罪被害者等早期援助団体”として、「被害直後からの支援のできる危機介入的支援を各支援機関と連携し総合的な支援活動（公益事業Ⅰ—支援）」の推進を図るとともに、「支援を支える人づくり事業（公益事業Ⅱ—研修）」、「被害者支援の必要性を広く県民に知っていただく広報啓発活動（公益事業Ⅲ）」に取り組みます。

併せて財務委員会と連携した「自主財源確保事業（ファンドレイジング）」にも取り組みます。

2. 事業内容

公益事業【Ⅰ】—支 援

（被害者等のニーズに応じた直接的支援等の各種支援事業）

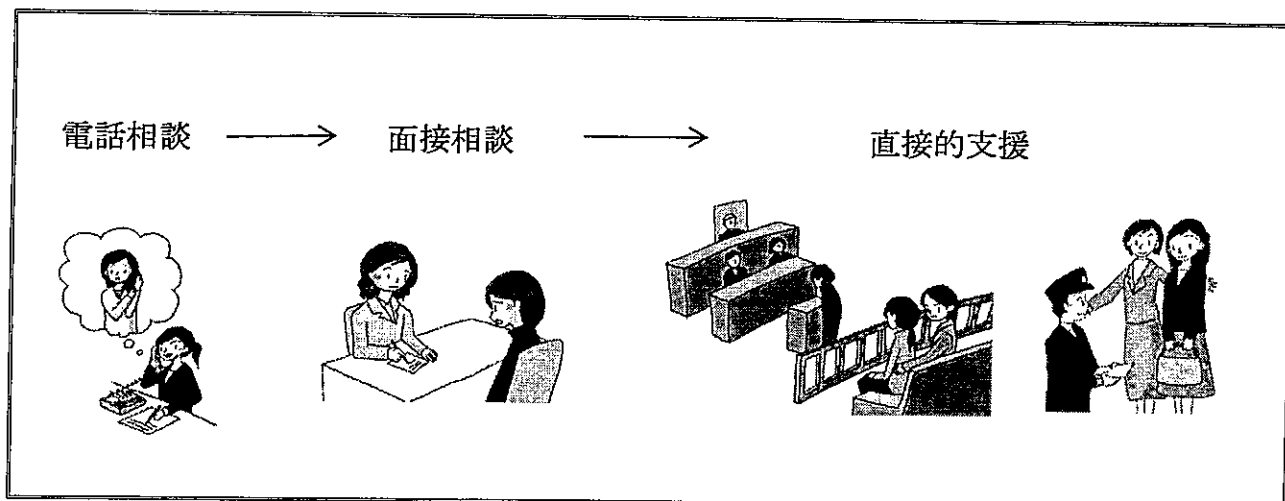
～犯罪被害者等早期援助団体として、電話を受けてから支援を開始する応答的な支援に加えて、被害者等のニーズの高い被害直後に警察から情報を受けて支援を開始する「危機介入的な支援」に県内の各支援機関と連携し総合的且つニーズに応じた決め細やかな被害者支援に取り組みます。

（「支援」事業の内容）

- ①電話・面接相談及び直接的支援の実施
- ②「1日移動無料相談」の実施
- ④全国被害者支援ネットワークとの連携
- ⑤その他

＜主な事業の実施計画＞

(1) 支援（電話相談・面接相談・直接的支援）事業



＜参考＞令和元年度実施結果

(1) 相談事業（電話・面接・専門相談）及び直接的支援活動

（令和2年2月末現在）

電話相談	面接相談	直接的支援	計
419	40	104	563

（年度別支援結果）

	電話相談	面接相談	直接的支援	計
平成22年度	105	23	26	154
*平成23年2月17日県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」に指定				
平成23年度	193	54	27	274
平成24年度	368	62	65	495
平成25年度	260	53	36	349
平成26年度	237	28	44	309
平成27年度	257	36	33	326
平成28年度	336	51	56	443
平成29年度	394	60	54	508

平成 30 年度	400	58	142	600
----------	-----	----	-----	-----

(2) 「1 日移動無料相談」の実施計画について

実施日	実施場所	備 考
5 月 16 日 (土)	橋本市教育文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士・臨床心理士各 1 名及び犯罪被害談員等に対応する。 ・ 臨時電話の架設
5 月 30 日 (土)	田辺市民総合センター	
10 月 24 日 (土)	海南市民会館	
11 月 7 日 (土)	田辺市民総合センター	

<参考> 令和元年度実施結果

実施日	実施場所	備 考
5 月 11 日 (土) 10:00~16:00	田辺市民総合センター	(電話・面接相談取扱件数 9 件) — 田辺市 6 件・橋本市 3 件—
5 月 18 日 (土) 10:00~16:00	橋本市教育文化会館	
10 月 5 日 (土) 10:00~16:00	新宮市福祉センター	(電話・面接相談取扱件数 9 件) — 新宮市 9 件—
10 月 12 日 (土) 10:00~16:00	打田生涯学習センター	

*10 月 12 日 (土) 打田町での移動相談は台風接近のため中止

公益事業【Ⅱ】一研 修

(支援を支える支援活動員の養成及び支援員のスキル向上研修事業)

(「研修」事業内容)

- ①「支援活動員養成講座」(前期・後期)・専門コース(19期生)の開催
- ②「継続研修」(1～18期生の支援スキル向上研修)の実施
- ③「フォローアップ研修」(18期生)の実施
- ④全国被害者支援ネットワーク主催の「近畿ブロック研修」(所管：和歌山)・「全国研修」(東京)への人材派遣
- ⑤その他

<主な事業の実施計画>

(1) 第19期「支援活動員養成講座」の開催

1. 開催日時：

前期コース 6/13・6/20・6/27 (3日間・毎土曜日)

後期コース 7/4・7/11 (2日間・毎土曜日)

専門コース 8/8・9/12・10/10・11/21・12/19・1/23

(6日間・毎土曜日)

2. 会 場：

前・後期コースー (海南市交流センター)

専門コースー (和歌山市南コミュニティーセンター)

3. 募集人員

前期コース初日(6/13)のみ公開講座 100名

前期2日目以降及び後期・専門コース 30名

4. 講座内容：

プログラム内容は犯罪被害者支援に関する「入門編及び初級編」となっています。

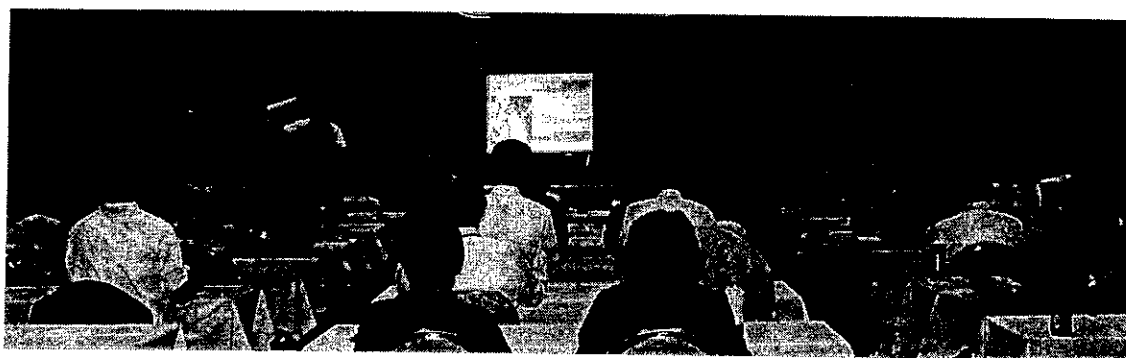
(参考)

令和元年度 18 期生「ボランティア支援員」登録者

玉井 良弘	登録	塩見 斉美	登録	村川 智彦	登録
三木千賀子	登録	阪口 香織	登録	栗須 千代	登録
島村 浩	登録	—	—	—	—

以上7名です。

～研修風景～



(2) 「継続研修」(1～18 期生の支援スキル向上研修) の実施

1. 開催日時：5月20日(水)・8月27日(木)・11月26日(木)
22月18日(木)
2. 開催場所：和歌山市中央コミュニティーセンター

(3) 「フォローアップ研修」(18 期生) の実施

1. 開催日時：5月9日(土)・7月18日(土)・8月22日(土)
9月26日(土)
2. 開催場所：和歌山市北コミュニティーセンター

(4) 全国被害者支援ネットワーク主催「近畿ブロック研修」(下半期Bプログラム) の開催ー(所管：紀の国被害者支援センター)

1. 開催日時：令和3年2月予定(1泊2日の宿泊研修)
2. 開催場所：和歌山市内
3. 参加者：紀の国センター6名・近畿各センター各3～5名

(5) 全国被害者支援ネットワーク主催「全国研修」への人材派遣

1. 開催日時：令和2年10月予定（1泊2日の宿泊研修）
2. 開催場所：東京都内
3. 派遣人員：1名派遣予定

<参考>

令和元年度実施結果

「特別セミナー—こころの傷（記憶の傷）を癒すために—」の実施

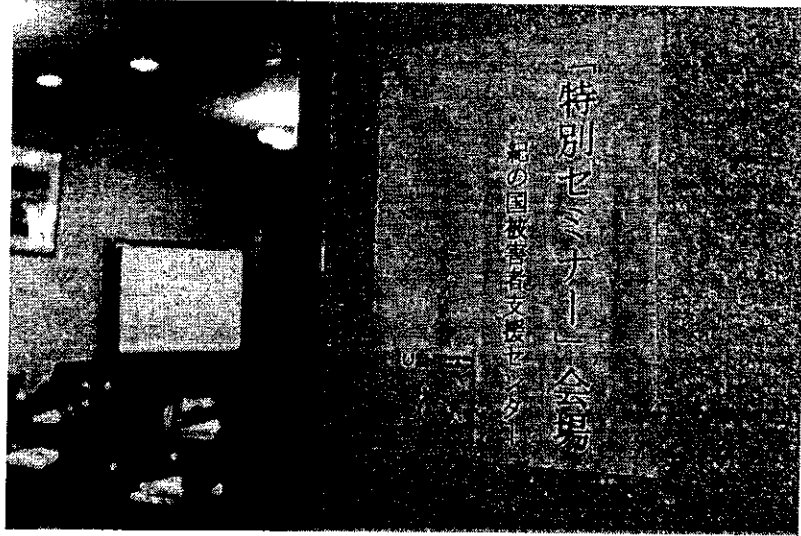
テーマ：犯罪被害等とトラウマ等のテーマを中心に、人間の「心の傷（トラウマ）」について理解を深め、被害者支援現場で活用できる戦略、戦術を知的にも、身体的にも深める。
*令和元年度「預保納付金」事業

記

- ・開催日時：令和元年11月2日（土）～3日（日）（セミナー12時間）
- ・会場：ガーデンホテルはやし（TEL 073-444-1004）
- ・講師：上野 和久氏（臨床心理士・高野山大学教授）
- ・参加：下記のとおり

センター名	参加者数	備考
おうみ被害者支援センター	3	
なら犯罪被害者支援センター	3	
京都犯罪被害者支援センター	2	
大阪被害者支援アドボカシーセンター	2	
ひょうご被害者支援センター	3	
紀の国被害者支援センター	6	

以上19名



公益事業【Ⅲ】－広報啓発

(被害者等の現状や支援の必要性を広く県民に知らせる事業)

～多様な広報媒体を利用して犯罪被害者支援の意義・必要性、被害者等の置かれている状況を県民に広く正しく理解していただく、知っていただくための広報啓発事業を実施します。

(「広報」事業内容)

- ①街頭での広報啓発活動
- ②県「人権フェスタ」への参加
- ③命の授業一県内の中高生等で「命の大切さを学ぶ教室」の開催
- ④広報啓発ツールの制作
- ⑤各団体からの依頼による講演活動
- ⑥「イオンレシートキャンペーン」の実施
- ⑦その他

<主な事業の実施計画>

実施計画 (1)

(1) 街頭での広報啓発活動

<参考>令和元年度実施結果

犯罪被害者週間の初日に「街頭啓発」を実施しました。

1. 日時：11月25日(月) 7:30～8:15
2. 会場：JR和歌山駅前
3. 参加者：広報委員(平鍋・峯・木村敦・尾和)
支援機関(東警察署を含む警察本部5名)
4. 実施内容：資料等500部を配布
(センターPR用チラシ・グッズ(ウェットティッシュ)・東警察署からのお知らせ)



実施計画（2）

(2) 「人権フェスタ」への参加

<参考>令和元年度実施結果

実施日：11月23日（土）・会場：和歌山ビッグホエール

本年度は支援機関の一つである和歌山県の犯罪被害者支援窓口（県民生活課）と共同ブースを設置し、4月からスタートした「犯罪被害者支援に特化した条例」施行のPRと「犯罪被害者支援」の必要性と被害に遭われた方々の状況を正しく知っていただくための広報啓発活動を実施しました。

（ブース展示）

（アンケート調査の実施）

（出入口での広報活動）



実施計画（3）

(3) 命の授業—県内の中高生を対象に「命の大切さを学ぶ教室」の開催

<参考>令和元年度実施結果

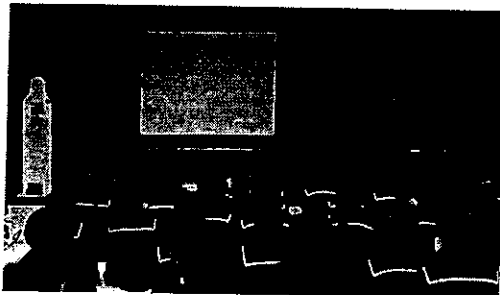
～下記のとおり県内の中高生を対象に「命の大切さを学ぶ教室」を開催～

実施日：4月17日（水）13：20～14：20 南部高校（みなべ町）

6月25日（火）13：20～14：20 大成中学校（日高川町）

7月18日（木）13：25～14：15 初島中学校（有田市）

2月3日（月）13：30～14：40 海南高校（海南市）



実施計画（4）

(4) 「イオンレシートキャンペーン」の実施

昨年に引き続き本年度も下記の通り実施します。

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンとは、毎月11日の「イオン・デー」にお客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくとともに各団体が黄色いレシートを受け取るキャンペーンを実施することでレシート合計の1%分の品物（店内で販売されている品物）をイオンが各団体が希望する品物を寄贈する取り組みです。

記

・実施時期：毎月11日のイオン・デー（年間12回 実施）

＜広報委員による活動予定＞11:30～13:30					
4月10日(金) 11日(土)	3名	5月11日(月)	3名	6月11日(木)	3名
7月11日(土)	3名	8月11日(火)	3名	9月11日(金)	3名
10月11日(日)	3名	11月11日(水)	3名	12月11日(金)	3名
1月11日()	3名	2月11日()	3名	—	

・実施場所：イオン1F店内の指定場所

・参加者：広報委員会所属委員（1回3名程度）がセンターのPRを行う

＜参考＞令和元年度実施結果

受け取りレシート合計金額 3,862,040 円

その結果、受取レシート金額の1%（38,600円）の「イオンギフトカード」を頂けることになりました。

*ギフトカード受取日：令和2年4月20日（月）

*購入物品予定（文具やコピー用紙等）

＜広報委員による活動結果＞11:30～13:30					
4月10日(水) 11日(木)	4名	5月11日(土)	1名	6月11日(火)	2名
7月11日(木)	1名	8月11日(日)	2名	9月11日(水)	3名
10月11日(金)	1名	11月11日(月)	3名	12月11日(水)	1名
1月11日(土)	1名	2月11日(祝)	2名	—	



ファンドレイジング（自主財源確保事業）

～団体運営の自立に向けた仕組みづくり～

（1）ファンドレイジング事業について

ファンドレイジング事業の取り組みについて

自主財源の確保事業は被害者支援活動を継続的に実施していく上で大切な役割を担っていることに鑑み、昨年まで3年間日本財団の助成を受けて実施してきたジャパンギビング指導による「ファンドレイジングモデル事業」は終了しましたが、下記のとおり「財務委員会」・「ファンドレイザー」が連携して自主財源の確保（ファンドレイジング）に取り組めます。

記

1. 体制

○財務委員会

（大谷理事長・村田副理事長・上野理事・土橋監事・山本監事）

○ファンドレイザー

（木村敦夫 10期生直接支援員）

○事務局（浅利事務局長・楠事務局員・田中会計担当）

2. 確保手段

①＜確保手段Ⅰ＞：「賛助会員及び寄附者」の確保

②＜確保手段Ⅱ＞：「支援自販機」の設置

③＜確保手段Ⅲ＞：「ホンデリング」の実施

④＜確保手段Ⅳ＞：街頭募金の実施と「支援募金箱」の設置

⑤新規事業：

（A）「マンスリーサポーター」の募集

（B）「金券d e支援」の募集

（C）HPへ「遺贈」関係を導入する

3. 実施スケジュール

平成30年・令和元年度の実施結果を踏まえ次のとおりファンドレイジングを実施する。

・4～6月 「ファンドレイジング」実践

・7～9月 〃

・10～12月 〃

・1 ～ 3月

〃

・実施結果のまとめ

<2>令和元年度「ファンドレイジング」モデル事業の実施結果

項目	件数等	備考
「財務委員会」・ファンドレイザー・「寄附金集めのプロ集団ージャパンギビング」との連携結果		
お願いの電話件数	684 件	
お願いの訪問数	322 件	
支援確定件数	142 件	法人(賛助会員)
法人	新規 49・継続 65	1,120,000 円
個人	新規 12・継続 16	個人(賛助会員)
		108,000 円
		寄付者(法人・個人)
		555,000 円
「わかやま共同募金会」とファンドレイザーとの連携による募金結果		
令和2年1月	42 件 (法人 18・個人 24)	315,000 円
令和2年2月	53 件 (法人 14・個人 39)	425,000 円
令和2年3月	25 件 (法人 10・個人 15)	329,265 円
計		1,069,265 円

管理的業務

- ①管理業務（総務・人事・公益会計等）
- ②その他

3. 主な行事予定表

事業名	実施事項	実施時期	実施内容
会務運営	総 会	定時社員総会	決算の承認等（令和2年6月） *令和元年度事業終了後3ヶ月以内
		臨時社員総会	予算の承認等（令和3年3月） *令和3年度事業開始前
	理事会	年 間	5月・10月・2月
公益事業 I - 支援 - （被害者等のニーズに応じた直接的支援等の各種支援事業）			
相談活動の推進	電話相談	年 間	電話相談： ・月～金（10:00～16:00） ・土（13:00～16:00） *日・祭日・年末年始は除く 専用電話（073-427-1000） 全国共通ナビダイヤル （0570-783-554）
	面接相談	年 間	随時、相談者の要望等に応じて実施
	1日「移動無料相談」の実施	紀北1回 （橋本市） （海南市） 紀中2回 （田辺市）	県内どこで被害に遭っても被害直後から支援が受けられる体制づくりのための活動－「1日「移動無料相談」（弁護士・臨床心理士と連携）の実施
直接的支援活動の推進	付添い支援	年 間	支援プランに基づいて病院・裁判所等への付き添い支援の実施
	物品の供与 又は貸与	年 間	随時、再被害防止のための「防犯ブザー」等の貸し出し
	日常生活支援	年 間	随時、必要に応じて被害直後の被害者等に対して日常生活のお手伝い等の実施
	給付金申請手続きの補助	年 間	随時、給付金申請手続きを行うための補助業務の実施

公益事業Ⅱ－研修－
(支援を支える支援活動員の養成及び支援員のスキル向上研修事業)

直接支援員等の養成及び研修の実施	養成講座	年 間	19期「支援活動員」養成講座の開催 ・前期－入門編 3日間 ・後期－入門編 2日間 ・専門コース 6日間 ＊海南市交流センター等で開催
	研 修	年 間	継続研修 1～18期生対象（年4回開催）
		年 間	フォローアップ研修 （18期生7名が対象）
		年 間	近畿ブロック研修・全国研修への人材派遣 ・近畿プロ研修（1泊2日） （下半期Aプログラム：所管/和歌山） ・全国研修（東京都：2泊3日）

公益事業Ⅲ－広報啓発－
(被害者等の現状や支援の必要性を広く県民に知らせる事業)

広報・啓発活動の展開	広報活動	年 間	・街頭啓発活動の展開 ・多様な広報媒体を利用した広報
	啓発活動	年 間	・「命の授業」の開催 ・「人権フェスタ」への参加 ・全国一斉街頭募金等の実施等

その他－ファンドレイジング事業
(団体運営の自立に向けた仕組みづくり)

ファンドレイジングの実施

3年間の日本財団預保納付金事業「ファンドレイジングモデル」事業が終了したので、ジャパンキビングのこれまでの指導・結果を踏まえ、財務委員会・ファンドレイザーが連携しファンドレイジング（自主財源の確保）に取り組みます。

収 支 予 算 書

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	(2,153,000)	(1,700,000)	(453,000)	
正会員受取会費	290,000	300,000	Δ10,000	
賛助会員受取会費	1,863,000	1,400,000	463,000	
② 受取補助金等	(7,256,000)	(10,055,000)	(Δ2,799,000)	
受取補助金等振替額	7,256,000	10,055,000	Δ2,799,000	
③ 受取寄付金	(5,590,000)	(5,480,000)	(110,000)	
受取寄付金振替額	5,590,000	5,480,000	110,000	
④ 雑収益	(1,000)	(1,000)	(0)	
受取利息	1,000	1,000		
経常収益計	15,000,000	17,236,000	Δ2,236,000	
(2) 経常費用				
① 事業経費	(13,583,000)	(15,440,000)	(Δ1,857,000)	
給料手当	7,786,000	7,716,000	70,000	
福利厚生費	698,000	672,000	26,000	
旅交通費	402,000	874,000	Δ472,000	
通信運搬費	398,000	414,000	Δ16,000	
消耗品費	73,000	84,000	Δ11,000	
印刷製本費	215,000	448,000	Δ233,000	
燃料費	123,000	122,000	1,000	
光熱水料費	34,000	58,000	Δ24,000	
賃借料	1,554,000	1,612,000	Δ58,000	
保険料	22,000	67,000	Δ45,000	
諸謝金	1,868,000	2,582,000	Δ714,000	
支払負担金	100,000	135,000	Δ35,000	
委託費	162,000	162,000		
雑費	148,000	494,000	Δ346,000	
事業費計	13,583,000	15,440,000	Δ1,857,000	
② 管理費				
給料手当	586,000	436,000	150,000	
福利厚生費	52,000	138,000	Δ86,000	
通信運搬費	54,000	37,000	17,000	
消耗品費	27,000	28,000	Δ1,000	
印刷製本費	20,000	14,000	6,000	
光熱水料費	69,000	109,000	Δ40,000	
賃借料	1,097,000	974,000	123,000	
有価証券運用損	54,000	54,000		

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
雑 費	35,000	6,000	29,000	
管 理 費 計	1,994,000	1,796,000	198,000	
経 常 費 用 計	15,577,000	17,236,000	Δ1,659,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	Δ577,000	0	Δ577,000	
評 価 損 益 等 計	0	0	0	
当 期 経 常 増 減 額	Δ577,000	0	Δ577,000	
2 経 常 外 増 減 の 部				
(1) 経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	Δ577,000	0	Δ577,000	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	Δ577,000	0	Δ577,000	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	Δ333,485	881,512	Δ1,214,997	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	Δ910,485	881,512	Δ1,791,997	
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
① 受 取 補 助 金 等	(7,256,000)	(10,055,000)	(Δ2,799,000)	
受取地方公共団体助成金	2,216,000	2,105,000	111,000	
受取民間助成金	2,070,000	4,980,000	Δ2,910,000	
その他受取補助金	2,970,000	2,970,000		
② 受 取 寄 付 金	(5,590,000)	(5,480,000)	(110,000)	
受 取 寄 付 金	5,590,000	5,480,000	110,000	
③ 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(Δ12,846,000)	(Δ15,535,000)	(2,689,000)	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	Δ12,846,000	Δ15,535,000	2,689,000	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	574,825	Δ574,825	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	574,825	Δ574,825	
III 正 味 財 産 期 末 残 高	Δ910,485	1,456,337	Δ2,366,822	

令和2年度予算書

1. 収入の部

(単位:千円)

(収入の部)																														
科 目	予算額	備 考																												
		参考資料 (1)	参考資料 (2) 令和元年度 決算額																											
委託金 和歌山県	(2,970,000) 2,970,000	県警察からの委託金																												
受取補助金 市町村	(4,286,000) 2,216,000	市町村助成金 (岩出市・海南市を除く。) *本年度から紀の川市助成金 160,000 が加わります。																												
日本財団	2,070,000	預保納付金 *預保納付金申請及び内示状況 (単位:千円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>申請額</th> <th>内示額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談員育成</td> <td>1,040</td> <td>1,040</td> </tr> <tr> <td>養成講座</td> <td>801</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>移動相談</td> <td>440</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>人材育成</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>広報啓発</td> <td>770</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ファントレディング</td> <td>1,840</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>出前講座</td> <td>127</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,718</td> <td>2,070</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	申請額	内示額	相談員育成	1,040	1,040	養成講座	801	640	移動相談	440	390	人材育成	700	0	広報啓発	770	0	ファントレディング	1,840	0	出前講座	127	0	計	5,718	2,070
事業名	申請額	内示額																												
相談員育成	1,040	1,040																												
養成講座	801	640																												
移動相談	440	390																												
人材育成	700	0																												
広報啓発	770	0																												
ファントレディング	1,840	0																												
出前講座	127	0																												
計	5,718	2,070																												
受取会費 正会員 個人	(2,153,000) 290,000	個人1万円 (29名) *2人増																												
賛助会員 個人	463,000	個人年会費 2千円 (232人)																												

法人	1,400,000	法人年会費 1 万円 (140 社)	1,160,000
事業収入 (諸口)	(150,000) 150,000	講座受講生数 (30 人) * 受講料 5 千円	117,000
受取寄付金 寄附金	(5,440,000) 2,868,000 1,000,000	・ 継続寄附金 2,868 千円 ・ 新規寄附金及び赤い羽根募金	4,657,468
自販機	1,441,000		1,410,891
ホンデリング	53,000	古本買い取り寄付金 (ハレブックス)	88,031
金券 d e 支援	78,000	* 新規事業 (金券・書き損じ葉書等) 買 い取り寄付金	-
利息	(1,000)		20
合計	15,000,000		18,119,910

2. 支出の部

(支出の部)		
科 目	予算額	備 考
		令和元年度決算額
管理費	(1,994,000)	(2,510,714)
給料手当	586,000	574,409
福利厚生費	52,000	47,070
旅費交通費	0	50,010
通信運搬費	54,000	66,744
消耗品費	27,000	39,419
光熱水料費	69,000	100,537
印刷製本費	20,000	28,466
賃借料	1,097,000	1,085,912
委託費	54,000	82,500
雑費	35,000	47,116
燃料費	0	7,031
租税公課	0	1,700
修繕料	0	37,800
負担金	0	342,000
事業費	(13,583,000)	(14,301,641)
給料手当	7,786,000	7,631,441
福利厚生費	698,000	625,365
旅費交通費	402,000	798,320
通信運搬費	398,000	474,997
消耗品費	73,000	112,081
印刷製本費	215,000	333,400
燃料費	123,000	161,323
光熱水料費	34,000	43,086
賃借料	1,554,000	1,644,718
保険料	22,000	21,210
諸謝金	1,868,000	1,631,600
支払負担金	100,000	135,000
委託費	162,000	405,000
雑費	148,000	284,100
合 計	15,577,000	16,812,355

3. 事業別予算

(単位：円)

事業名	金額	備考	令和元年度 決算額
合計	15,577,000		
人件費	(9,122,000)		
給料手当	8,372,000	事務局長・支援局長・犯罪被害相談員・ファントレイザー・/事務局員(「預保納付金」(1,040,000))	
福利厚生費	750,000	4名分	
管理費	(1,356,000)	執務室等の借上 他	
事業費	(5,099,000)	公益事業Ⅰ(支援)・Ⅱ(研修)・Ⅲ(広報)・その他(ファントレイジング)経費	
公益事業Ⅰ(支援)	2,938,000		
電話相談	281,000	固定電話4台・携帯電話6台含む	
直接的支援 (電話・面接相談含む。)	1,312,000	直接的支援従事手当・アドバイザー謝金・保険料他	
連携	71,000	全国被害者支援ネットワーク年会費 他	
1日移動無料相談	282,000	1日移動相談(橋本市・田辺市・海南市) *弁護士会及び臨床心理士会との共同事業 *「預保納付金」事業	
支援車両借り上げ	382,000	支援車輛リース料・ETC利用他	
管理的経費	610,000	公益会計事務処理委託金・切手代・光熱水料費・事務室借上料他	
公益事業Ⅱ(研修)	1,353,000		
支援活動員養成講座 (前期・後期・専門コース)	712,000	19期生(30名募集) *「前期」初日は無料公開講座(100名募集) *「預保納付金」事業	
継続研修	15,000	1～18期生対象	
近畿ブロック研修	0	・上半期は新型コロナウイルス関係で中止 ・下半期Aプログラム(和歌山)1泊2	

		日 *経費は全国被害者支援ネットワーク負担	
全国研修	47,000	東京都 2泊3日	
管理的経費	579,000	公益会計事務処理委託金・切手代・事務室借上料・ネットワーク負担金・燃料費他	
公益事業Ⅲ（広報）	674,000		
「人権フェスタ」への参加	4,000	開催場所：ビッグホール	
広報誌等の制作	18,000	広報誌 23号	
「命の授業」開催	285,000	県内の中高生対象に開催	
管理的経費	367,000	公益会計事務処理委託金・切手代・事務室借上料・ネットワーク負担金・燃料費他	
その他（自主財源確保事業）	134,000		
ファンドレイジング	134,000	企業訪問等経費（「財務委員会」経費含む。）	

(算出根拠)

【人件費】

(単位：円)

人件費	算出根拠	備考
○給与手当 8,372,000	給与手当 1,680,000 円 @140,000 円 (常勤) × 12 ヶ月 = 1,680,000	令和元年度決算額 7,514,650
事務局長 支援局長	給与手当 1,800,000 円 @150,000 円 (常勤) × 12 ヶ月 = 1,800,000	(事務局長・支援局 長・犯罪被害相談
犯罪被害相談アドバイザー	給与手当 576,000 円 (@1,000 円 × 6h × 月 4 日 × 12 ヶ月) = 288,000 円 × 2 名 = 576,000 円	員・事務局員・ファ ンドレイザー) 691,200
犯罪被害相談員	給与手当 1,959,000 楠 @1,000 円 × 6h × 1 日 × 4 週 × 12 ヶ月 = 288,000 円 @1,000 円 × 6h × 3 日 × 4 週 × 12 ヶ月 = 864,000 円 山下 @1,000 円 × 6h × 1 日 × 4 週 × 12 ヶ月 = 288,000 円 @900 円 × 6h × 2 日 × 4 週 × 12 ヶ月 = 518,400	(犯罪被害相談アド バイザー)
事務局員 (相談員候補者)	「犯罪被害相談員」認定予定者 3 名の雇用 給与手当 1,037,000 円 (「預保納付金」事業) @900 円 × 6h × 週 (2・1・1) 日 × 4 週 × 12 月 = 1,036,800 円	
ファンドレイザー	給与手当 1,320,000 円 @11 万円 (週 4 日勤務) × 12 ヶ月 = 1,320,000 円	
○社会保険料 750,000	福利厚生費 4 名分 (社会保険料) 750,000	672,435

【管 理 費】

(単位：円)

科目等	令和元年度 決算額	備考
(1,356,000)		
○管理的経費		
・通信運搬費		
26,000 公益事業Ⅱ切手代等	31,461	*負担割合 25%
28,000 インターネット利用料	35,283	*負担割合 25%
・消耗品費		
27,000 文具等購入代	39,419	*負担割合 25%
・光熱水料費		
69,000 電気・水道代分担金	100,537	*負担割合 70%
・印刷製本費		
20,000 封筒等購入、セロックス印刷代等	28,466	*負担割合 25%
・賃借料		
631,000 事務室年間借上料分担金	626,570	*負担割合 50%
378,000 駐車場6台借上	364,000	*負担割合 50%
88,000 コピー機リース代	95,342	*負担割合 40%
・委託費		
54,000 公益会計事務処理委託分担金	82,500	
(年間委託金 216,000)		*負担割合 25%
・雑費		
35,000 銀行振込料手数料等	47,116	
計 1,356,000		

【公益事業Ⅰ－支援】

(単位：円)

科目等	令和元年度 決算額	備考
<p>○電話相談（継続事業） (281,000)</p> <p>・通信運搬費</p> <p>114,000 固定電話4台（NTTファイナンス）</p> <p>77,000 携帯電話6台（ドコモ携帯代）</p> <p>90,000 電話機4台リース料（NTTファイナンス）</p> <p>.....</p>	<p>156,519</p> <p>101,295</p> <p>89,424</p>	
<p>○直接的支援（継続事業） (1,312,000)</p> <p>・旅費交通費</p> <p>167,000 面接相談等出張 旅費 *支援車両利用（ETC利用）</p> <p>○直接的支援</p> <p>・諸謝金</p> <p>624,000 直接的支援従事手当 (@1,300×平均従事時間2時間×年間従事時間240人＝ 624,000円)</p>	<p>221,830</p> <p>586,300</p>	
<p>* 支援手当支給基準 ～支援手当支給基準を1時間以内の従事は1,300円とし30分超過ごとに加算する。但し、予算の都合で最大3時間までとする。</p>		
<p>96,000 「犯罪被害相談員」電話相談従事手当 (@2,000×4人×12か月)</p> <p>146,000 直接支援員等電話相談従事手当 (従事手当700円・駐車場料金500円)</p> <p>・諸謝金</p>	<p>98,000</p> <p>155,800</p>	

240,000	直接的支援従事者の心のケア「アドバイザー」 (臨床心理士 (@5,000×4時間×12か月))	240,000	
・保険料			
13,000	ボランティア保険 取扱店：(株)東京海上自動パートナーズ (@211×(100)人=21,100) *負担割合 60%	12,726	
・雑費			
26,000	支援に伴う昼食代等	34,816	
.....			
○全国ネットワークとの連携 (継続事業)			
(71,000)			
・負担金			
40,000	全国ネットワーク年会費 (年会費 100,000)	40,000	
*負担割合 40%			
・旅費交通費			
31,000	全国被害者支援ネットワーク主催 「事務局長会議」出席 (@30,620×1人=30,620) *但し、新型コロナウイルスのため開催中止	61,620	
.....			
○1日移動無料相談 (継続事業) * [預保納付金] 対象事業			
実施会場：橋本市1回・海南市1回・田辺市2回			
(専門家の派遣：臨床心理士1名・弁護士1名・事務局：4名)			
(282,000) [預保納付金 263,000・自主財源 19,000]			
・諸謝金 (「預保納付金」)			
187,000		172,500	
・支援員従事手当	(@1,500×4名×3h×4日=72,000)		
・臨床心理士	(@2,750×1名×5h×4日=55,000)		
・弁護士	(@3,000×1名×5h×4日=60,000)		
*但し、「臨床心理士・弁護士」は田辺市のみ支給する。			
・旅費交通費 (「預保納付金」)			
36,000		68,480	
弁護士1名・臨床心理士1名旅費			

<ul style="list-style-type: none"> ・海南市 (片道 240) ×往復×2名=960 ・橋本市 (片道 840) ×往復×2名=3,360 ・田辺市 (片道 1,690+990) ×往復×2日×2名=21,440 相談員等E T C往復 ・橋本市 (1回) @350×往復=700円 ・田辺市 (2回) @2,270×往復×2日=9,080円 ・通信運搬費 (「預保納付金」) 32,000 臨時電話設置経費 (8,000×4日=32,000) ・印刷製本費 (「預保納付金」) 8,000 募集広報用印刷物 A 3ホ°ｽﾀｰ 120枚 (@10×120枚=1,200円) A 4ﾌﾗﾝｼﾞ 1,200枚 (@5×1,200枚=6,000円) ・雑費 (財源「自主財源」) 19,000 昼食代 (@800×6名×4日=19,000円) 	19,674	
.....		
<ul style="list-style-type: none"> ○支援車両借上げ (継続事業) (382,000) ・燃料費 52,000 支援車両ｶﾞｯｼﾞﾝ代 *負担割合 50% ・賃借料 330,000 トヨタ4人乗りﾘｰｽ料 (@27,500×12月=330,000) 	68,306	327,500
.....		
<ul style="list-style-type: none"> ○管理的経費 (継続事業) (610,000) ・委託費 54,000 公益会計事務処理委託分担金 (年間委託金 216,000) *負担割合 25% ・通信運搬費 9,000 2,000 公益事業 I 切手代等 7,000 インターネット利用料 ・光熱水料費 34,000 支援室電気・水道代分担金 *負担割合 30% 	55,000	43,086

・賃借料				
453,000				
271,000	事務室年間借上料分担金	*負担割合 20%	249,828	
159,000	駐車場 6 台借上	*負担割合 20%	145,600	
23,000	コピー機リース代	*負担割合 20%	27,216	
・消耗品費				
24,000	文具等購入代	*負担割合 25%	34,641	
・印刷製本費				
36,000	封筒等購入、セロックス印刷代	*負担割合 25%	35,556	
	計 2,938,000			

【公益事業Ⅱ－研修】

(単位：円)

科目等	令和元年度 決算額	備考
<p>○支援活動員の養成（継続事業）＊[預保納付金]対象事業 （開催日等）</p> <p>前期：6月13日・20日・27日の各土曜日 後期：7月4日・27日の各土曜日 専門コース：8月8日・9月12日・10月10日・11月21日・ 12月19日・1月23日の各土曜日 (712,000) 「預保納付金 648,000・自主財源 64,000」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃借料（「預保納付金」） 112,000 前期コース（1日目 30,000/2・3日目 20,500×2日＝41,000） 後期コース（1・2日目 20,500×2日＝41,000） 専門コース（和歌山市コミセン研修室（利用料免除）） ・諸謝金（「預保納付金」） 360,000 前期：講師謝金 5名（@10,000×8時間＝80,000） 後期：講師謝金 6名（@10,000×10時間10分＝105,000） 専門コース：講師謝金 8名（@10,000×17時間30分＝175,000） ・旅費交通費（「預保納付金」） 58,000 前期：講師 5名旅費 大分 1名（32,960+8,000 宿泊料+@240×往復＝41,440） 県内講師 4名（@240×往復 4名＝1,920） 後期：講師 7名旅費 神戸 1名（@1,980+1,520）×往復＝7,000） 県内講師 6名旅費（@240×往復×6名＝2,880） 専門：講師 8名旅費 県内講師 8名（@240×往復×8名＝3,840） ・印刷製本費（「預保納付金」） 118,000 募集広報用印刷物 A3 ホスター 150枚（22,680円） A4 募集要項 2,000部（95,040円） 	<p>200,000</p> <p>360,000</p> <p>91,220</p> <p>130,680</p>	

<p>・雑費（「自主財源」） 64,000 円 （前期：46,000） 無料講師土産品（@2,000×3名＝6,000 円） 交流会費（@1,000×40名＝40,000 円） （専門コース：18,000） 無料講師土産品（@2,000×9名＝18,000 円） *スタッフの昼食は各自支払いとしボランティア参加とする。</p>	126,245	
.....		
<p>○「継続研修」－1～17 期生の支援スキル向上研修（継続事業） 実施予定日： 5月20日（水）・8月27日（木）・11月26日（木） 2月18日（木） （15,000） ・賃借料 無 料 会場：和歌山市中央コミセン ・諸謝金 15,000 講師謝金（@5,000×3h＝15,000）</p>	15,000	
.....		
<p>○近畿ブロック研修Ⅰ（継続事業） 前期研修開催地：滋賀県 *新型コロナウイルスの影響を受け令和2年度は中止</p>		
<p>○近畿ブロック研修Ⅱ（継続事業） 後期研修開催地：和歌山県 （*参加人員6名） 本研修に伴う経費等は全国被害者支援ネットワークが負担350,000円（会場費100,000円程度他）し、当センターは運営を担当する。</p>		
.....		
<p>○全国研修Ⅰ（継続事業）：全国被害支援ネットワーク主催 秋季全国研修 （派遣人員：1名 *昨年度の派遣人員は3名） （47,000） ・旅費交通費 47,000 県外研修参加者旅費 2泊3日：東京都 （@30,620+16,000）×1人＝46,620</p>	144,970	

*交流会・昼食代は予算の都合上自己負担とする。

.....		
○管理的経費 (579,000)			
・委託費			
54,000	公益会計事務処理委託分担金 (年間委託金 216,000)	55,000	
	*負担割合 25%		
・通信運搬費			
12,000			
6,000	公益事業 I 切手代等	7,309	
6,000	インターネット利用料	7,131	
・負担金			
40,000	全国ネットワーク会費 (年会費 100,000 円)	40,000	
	*負担割合 40%		
・賃借料			
428,000			
253,000	事務室年間借上料分担金 *負担割合 20%	249,828	
152,000	駐車場 6 台借上 *負担割合 20%	145,600	
23,000	コピー機リース代 *負担割合 20%	27,216	
・消耗品費			
26,000	文具等購入代 *負担割合 25%	38,729	
・印刷製本費			
16,000	封筒等購入、セロックス印刷代 *負担割合 25%	20,867	
・燃料費			
3,000	支援車両ガソリン代	3,548	
計 1,353,000			

【公益事業Ⅲ－広報】

(単位：円)

科目等	令和元年度 決算額	備考
○「人権フェスタ」への参加 (4,000) ・雑費 4,000 スタッフ昼食代 *参加者予定10名	4,900	
○「命の授業」の開催(継続事業) *和歌山県警察との共催事業 (県内の中高生を対象に被害者遺族の講演を聴講する”命を大切に する教室”を学校単位で開催する。) (285,000) ・諸謝金 200,000 講師謝金 @20,000×10人 100,000 ・旅費交通費 50,000 講師旅費 58,630 (講師は県内外から招へいする) 大阪@1,900×5回=9,500・奈良@3,060×5回=15,300・岡山(@16,500+8,000)×1回=24,500 ・雑費 10,000 昼食代 5,000 (@1,000×10人=10,000) 25,000 感想文受賞者記念品		
○広報ツール制作(継続事業) (18,000) ・印刷製本費 18,000 広報誌年1回6月発行予定 *2色刷り300部 *「支援リーフレット」(街頭啓発用)は予算 節減ため和歌山市の無料印刷機を使って印刷 したモノクロリーフレットを使用する。	22,110	
○管理的経費 (367,000)		

・委託費				
54,000	公益会計事務処理委託分担金 (年間委託金 216,000)	*負担割合 25%	55,000	
・通信運搬費				
11,000				
5,000	公益事業 I 切手代等	*負担割合 25%	5,807	
6,000	インターネット利用料	*負担割合 25%	7,126	
・保険料				
9,000	ボランティア保険分担金	*負担割合 40%	8,484	
・負担金				
20,000	全国ネットワーク分担金 (年会費 100,000)	*負担割合 20%	20,000	
・賃借料				
231,000				
127,000	事務室年間借上料分担金	*負担割合 10%	124,914	
76,000	駐車場 6 台借上	*負担割合 10%	72,800	
28,000	コピー機リース代	*負担割合 10%	27,216	
・消耗品費				
23,000	文具等購入代	*負担割合 25%	34,641	
・印刷製本費				
19,000	ゼロックス印刷代等	*負担割合 25%	96,527	
	計 674,000			

【ファンドレイジング】

(単位：円)

科目等	令和元年度 決算額	備考
<p>○ファンドレイジング（自主財源確保事業） （134,000）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費交通費 13,000 企業等訪問ETC利用 18,660 ・燃料費 68,000 企業等訪問使用車 (センター借り上げ車) ガソリン代 89,469 ・通信運搬費 53,000 DM用切手代 66,088 @84×785通 (1,570通×50%) =65,920円 <p>*参考：地域別企業・団体等の数 1,570社</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ファンドレイジングのこれまでの取り組みと新たな取り組み</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①「正会員・賛助会員及び寄附者」の確保 ②「支援自販機」の設置・「ホンデリング」の実施 ③街頭募金の実施と「支援募金箱」の設置 ④共同募金会と連携した「募金活動」の実施 2. 新たな取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①「マンスリーサポーター」を募集する。 ②「金券de支援（葉書の書き損じ等）」を募集する。 ③HPへ「遺贈」関係を導入する。 		
<p>計 134,000</p>		